

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 小林 祖承
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和3(2021)年10月1日 金曜日
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



伝教大師の願いが伝わる特別拝観

「最澄と比叡山『戒壇院と法華総持院東塔』」 開催中

宗祖伝教大師一千二百年大遠忌を記念した「最澄と比叡山『戒壇院と法華総持院東塔』特別拝観」が12月12日まで、比叡山延暦寺で開かれている。大乘仏教を世に弘め、国



戒壇院内



法華総持院東塔内

を護り人びとの安寧を祈る社会を目指された伝教大師の願いが込められた両堂が拝観できる貴重な期間となる。開闢の9月12日、阿部昌宏天台宗宗務総長を導師に法要が奉修され、伝教大師に報恩が捧げられた。



京阪京橋駅

JR京都駅

な大乘仏教を世に弘めるために、その担い手を比叡山内で育てあげようとした伝教大師の悲願が具現された堂宇でもある。入滅された5年後に建立され、多くの祖師方からも仏道への帰依を誓った。

厳修。法要後は祖師先徳鑽仰大法会事務局奉行の水尾寂芳延暦寺執行が、出席した関係者らに堂内について解説した。続いて、戒壇院に移動し、法要が営まれ、特別拝観期間中の安全や世界平和、コロナの早期収束が祈念された。

JR京都駅と京阪京橋駅ではパネル展

今回の特別拝観に併せて、JR京都駅西口広場と京阪京橋駅3階片町の2カ所(写真)で、『最澄と比叡山』パネル展が9月13日から行われ、大遠忌や特別拝観の魅力がPRされた。

極微

コロナ禍で、日常の過ごし方がすっかり変わって随分と経つ。対応が全て初めてのことばかりで、人々の間にも戸惑いが多かった。「ソーシャル・ディスタンス」という対策も、人と人の密なつながりの上で、大きな障害となった▼以前にこんな歌を知った。「しばらくは離れて暮らす『コ』と『ロ』と『ナ』つき逢う時は『君』といふ字に」と詠まれていた。SNSのフェイスブックに投稿されていたという。なるほど、上手いと感心した。『君』という漢字は、分解すると分かるのだが、『コ』と『ロ』と『ナ』の組み合わせでなっているのだ。いつになったら元のようにならぬ『君』に逢えるのか、という思いを表現している▼距離を取ることが当たり前のようにならぬ『君』と『ロ』と『ナ』の組み合わせでなっているのだ。いつになったら元のようにならぬ『君』に逢えるのか、という思いを表現している▼